

対象国の条件:

研修コース番号:201984698-J002

案件番号:201984698

主分野課題:農業開発/その他農業開発

副分野課題:

使用言語:英語

**案件概要**

本案件はフィールドで土壌断面調査や試料採取を体験することとあわせ、基本的な土壌の化学性、物理性、生物性の分析を行い、得られた結果に基づく土壌診断能力の向上を図る。また、土壌診断結果に基づく適切な施肥技術、堆肥の品質評価や効果的利用など、持続的農業生産を実現するため、適正な圃場管理に必要な知識と技術について学ぶものである。

目標/成果	対象組織/人材
<p><b>【案件目標】</b> 研修員の所属機関において、土壌断面調査、土壌診断（物理性・化学性・生物性）技術および土壌改良技術が共有される。</p> <p><b>【成果】</b> 1. 土壌の生成や生産性に影響を与える自然的・人為的条件を説明できる。 2. 農作物の品質・収量向上に向けた土壌診断の概念と手法を説明できる。 3. 持続的農業のための施肥や有機物利用などの適正な圃場管理技術を説明できる。 4. 研修で学んだ知見を活用した自国での活動計画案を策定する。</p>	<p><b>【対象組織】</b> 土壌分析・診断を実施している、または導入を検討している農業関連機関</p> <p><b>【対象人材】</b> 1. 土壌分析、土壌診断、またはそれらの技術を応用した農業指導に携わる者 2. 土壌分析・栽培指導関連分野において3年以上の職務経験を有する者 3. 関連分野での博士号を有さない者 4. 50歳以下の者</p>

内 容											
<p>本研修は、高価な機材等がない組織でも持続的農業生産が実現できるよう、講義・実習・視察を通じて土壌診断技術・土壌改良技術の基礎知識と技術を確実に身に着けるプログラム構成となっている。</p> <p>1. 事前活動 自国の土壌診断にかかる問題点、及び研修で学びたい項目とその理由を記載したインセッションレポートの作成</p> <p>2. 本邦活動 以下の内容の講義、実習、視察を行う。 (1) 世界の農業の概況と十勝の農業の概況 (2) 土壌断面調査、土壌分析（非破壊分析の紹介を含む）、土壌診断の活用、空撮データ等を用いた土壌分析の紹介 (3) 堆肥・土壌改良材の効果的利用、日本における土壌改良事例紹介 (4) 作物栽培や防除技術との連携 (5) 自国の問題解決に向けた討論、活動計画案の策定</p> <p>3. 事後活動 (1) 本邦研修で学んだ知識・技術を、関係者と共有する</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1075 1155 1224 1305">本邦研修期間</td> <td data-bbox="1224 1155 1557 1305">2019/5～2019/7</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1075 1305 1224 1350">担当課題部</td> <td data-bbox="1224 1305 1557 1350">農村開発部</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1075 1350 1224 1713">所管国内機関</td> <td data-bbox="1224 1350 1557 1713">JICA北海道（帯広）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1075 1713 1224 1751">関係省庁</td> <td data-bbox="1224 1713 1557 1751"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1075 1751 1224 1792">実施年度</td> <td data-bbox="1224 1751 1557 1792">2018～2020</td> </tr> </table>	本邦研修期間	2019/5～2019/7	担当課題部	農村開発部	所管国内機関	JICA北海道（帯広）	関係省庁		実施年度	2018～2020
本邦研修期間	2019/5～2019/7										
担当課題部	農村開発部										
所管国内機関	JICA北海道（帯広）										
関係省庁											
実施年度	2018～2020										

<p>主要協力機関</p>	<p>一般社団法人The Earth Cafe、帯広畜産大学</p>
<p>特記事項 及び ホームページ</p>	